

## 擬似ツールバーのカスタマイズ方法について

このページは、PDF No Save・HTMLモード([http://www.pdf-nosave.com/html\\_detail.html](http://www.pdf-nosave.com/html_detail.html))AJモード([http://www.pdf-nosave.com/aj\\_detail.html](http://www.pdf-nosave.com/aj_detail.html))の連携機能による擬似ツールバー機能をお客様にカスタマイズしていただくための方法についての解説ページです。

HTMLモードでは通常、Adobe® Readerのツールバーを隠し、保存ボタン自体を隠すことを通して、保存対策としていますが、それだとページの移動や倍率の変更が大変という問題がありました。この擬似ツールバーを使っていただくことで、セキュリティゆえにユーザービリティを犠牲にする必要がなくなるというメリットがあります。

## 1. ボタンについての概要



機能	機能詳細や画像のパスなどについて
① 1ページ目に戻る	image_sh/semi_toolbar/go_to_start_gray.gif・・・現在のページ数が1ページ目の場合は、それ以上戻れないので、グレイの矢印が表示されます。 image_sh/semi_toolbar/go_to_start_blue.gif  or 
② 前のページに戻る	image_sh/semi_toolbar/before_page_gray.gif・・・現在のページ数が1ページ目の場合は、それ以上戻れないので、グレイの矢印が表示されます。 image_sh/semi_toolbar/before_page_blue.gif  or 
③ 次のページに進む	image_sh/semi_toolbar/next_page_gray.gif・・・現在のページ数が最後のページの場合は、それ以上先に進めないで、グレイの矢印が表示されます。 image_sh/semi_toolbar/next_page_blue.gif  or 
④ 現在のページ数/総ページ数	プログラムで自動で取得されます。
⑤ ページ全体を表示する	image_sh/semi_toolbar/fitP.gif 
⑥ PDFファイルの横幅を画面に合わせる。	横スクロールが出ない状態で、最大化して表示します。 image_sh/semi_toolbar/fitW.gif 
⑦ 縮小する	image_sh/semi_toolbar/minus.gif・・・1クリックで何%縮小させるかは設定できます。また、最小値も設定できます。 
⑧ 現在の拡大率	プログラムで自動で取得されます。
⑨ 拡大する	image_sh/semi_toolbar/plus.gif・・・1クリックで何%拡大するかは設定できます。また、最大値も設定できます。 
⑩ 印刷する。	このボタンは表示・非表示を設定できます。 image_sh/semi_toolbar/print_pdf.gif・・・通常時 image_sh/semi_toolbar/print_pdf2.gif・・・マウスオーバー時  or 
⑪ (PDF一覧ページなどへの)バックボタン	このボタンの表示・非表示の切り替えが出来ます。デフォルトでは非表示です。ボタンの文言も変更可能です。

## 2. JSファイルのカスタマイズ方法

出カフォルダーに「semi\_toolbar」で始まるJSファイルがあると思います。ex. 「semi\_toolbar246c.js」など。このJSファイルをメモ帳やTeraPad、秀丸エディタなどで開いてください。

多くの場合、**ダブルクリックでは開けません**。先にメモ帳や秀丸エディタなどを起動させて、メニューの「ファイル」→「開く」で開いてください。

下記は、秀丸エディタで開いたものです。なお、下記画像及び行数の説明・デフォルト値などは開発途中のものであり、お客様のJSファイルとは若干異なる場合もあります。適宜読み替えてご理解ください。また、JavaScriptの知識を多少お持ちの場合の方が安全です。

**カスタマイズに失敗されると全く表示されません。**

```

1 go_to_first_sh="1ページ目へ";↓
2 back_to_previous_sh="前のページに";↓
3 go_to_next_sh="次のページへ";↓
4 show_all_sh="全体表示";↓
5 fit_width_sh="画面の横幅に合わせて表示";↓
6 toolbar_page_sh="ページ";↓
7 percent_change_sh=true;↓
8 pdf_shrink_sh="縮小する";↓
9 toolbar_height_sh=30;↓
10 shrink_minus_sh=15;↓
11 shrink_min_sh=15;↓
12 pdf_enlarge_sh="拡大する";↓
13 enlarge_plus_sh=15;↓
14 enlarge_max_sh=250;↓
15 pdf_print_sh="印刷する";↓
16 show_print_sh=false;↓
17 show_back_button_sh=false;↓
18 back_to_menu_sh="メニューに戻る";↓
19 back_to_url_sh="/";↓
20 pdf_loading_sh="PDFファイルのロード中です。しばらくしてからクリックしてください。";↓
21 enable_aj_sh="Acrobat JavaScriptは有効になっていますか?";↓
22 toolbar_bg_sh="#eeeeff";↓
23 bg_image_sh="";↓
24 msg_receive_errr_sh="メッセージ受信エラー: ";↓
25 show_company_logo_sh=false;↓
26 dst4_sh=1;↓
27 var pp73ro41_sh=9558;pv439_sh="000072723725%5f03 8%28%22 706 f 405 a00 f%210303 004 9%29 2
c03 b050603 f%21 2%2f a f 5 609%50 7%29 3%2a%3c0e 706 f 406 b0100%5c%2200 6 105 a%2a%2b0d04
0%5c%22 8 3 e05 7%3d0f%0c 80700 506 b0100%5c%22 40600%45 a 300 9 8 206 b%2b 4%2c0e%10%5c%22
4%40%4042c0e%10%5c%20%0c0c a%4c 206 b%2b%250305 c0107 203 7 9%25%2c10605 7%41%26 d01 5 b

```

	変数名	デフォルトの値	説明
1行目	go_to_first_sh	1ページ目へ	「1. ボタンについての概要」の①のボタン(1ページ目に戻るためのボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
2行目	back_to_previous_sh	前のページへ	「1. ボタンについての概要」の②のボタン(前のページに戻るためのボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
3行目	go_to_next_sh	次のページへ	「1. ボタンについての概要」の③のボタン(次のページに移動するためのボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
4行目	show_all_sh	全体表示	「1. ボタンについての概要」の⑤のボタンにマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
5行目	fit_width_sh	画面の横幅に合わせて表示	「1. ボタンについての概要」の⑥のボタンにマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
6行目	percent_change_sh	true	「1. ボタンについての概要」の「⑦⑧⑨のボタン及び説明ブロック」を表示するかしないかのフラグです。「percent_change_sh=false;」に変えると、表示されません。(JavaScriptをご存じない型のために念のためにご説明いたしますが、「f」は要りません。
7行目	pdf_shrink_sh	縮小する	「1. ボタンについての概要」の⑦のボタン(マイナスボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
8行目	toolbar_height_sh	30	擬似ツールバーのheight(高さ)の指定です。
9行目	shrink_minus_sh	15	「1. ボタンについての概要」の⑦のボタン(マイナスボタン)をクリックした時に、何%縮小されるかの設定です。デフォルト値はマイナス15%です。「%」は入力せず、数字だけ記入してください。
10行目	shrink_min_sh	15	「1. ボタンについての概要」の⑦のボタン(マイナスボタン)をクリックしていった時に、無制限に小さくするのは多くの場合、意味が無いため、最小値を設定しています。デフォルト値は15%になっています。「%」は入力せず、数字だけ記入してください。
11行目	pdf_enlarge_sh	拡大する	「1. ボタンについての概要」の⑨のボタン(プラスボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。

12行目	<b>enlarge_plus_sh</b>	15	「1. ボタンについての概要」の⑨のボタン(プラスボタン)をクリックした時に、何%拡大されるかの設定です。デフォルト値はプラス15(%)です。「%」は入力せず、数字だけ記入してください。
13行目	<b>enlarge_max_sh</b>	250	「1. ボタンについての概要」の⑨のボタン(プラスボタン)をクリックした時に、無制限に大きくするのは多くの場合、意味が無いため、最大値を設定しています。デフォルト値は250(%)になっています。「%」は入力せず、数字だけ記入してください。
14行目	<b>pdf_print_sh</b>	印刷する	「1. ボタンについての概要」の⑩のボタン(印刷用ボタン)にマウスオーバー・イベントが発生した場合にポップアップで画像ボタンの説明が表示されます。
15行目	<b>show_print_sh</b>	false	「1. ボタンについての概要」の⑩のボタン(印刷用ボタン)を表示するかどうかのフラグ。この値は、HTMLモードのGUI設定でも設定できますが、後から変えたい場合は手動で書き換えてください。「show_print_sh=false;」なら印刷ボタンは非表示になります。「」は要りません。
16行目	<b>show_back_button_sh</b>	false	「1. ボタンについての概要」の⑪のボタン(バックボタン)を表示するかどうかのフラグ。「show_back_button_sh=false;」なら非表示になります。「」は要りません。
17行目	<b>back_to_menu_sh</b>	メニューに戻る	「1. ボタンについての概要」の⑫のボタン(バックボタン)の文言です。
18行目	<b>back_to_url_sh</b>	/	「1. ボタンについての概要」の⑫のボタン(バックボタン)がクリックされたときに表示されるページのパスです。URL形式でも、相対パス・絶対パス方式でも構いません。
19行目	<b>pdf_loading_sh</b>	PDFファイルのロード中です。しばらくしてからクリックしてください。	普通は表示されないエラーメッセージだと思います。ロード中に、先に擬似ツールバーが表示されますから、気が急いでいる人が、PDFのロードを待ちきれずにボタンをクリックした場合には表示される可能性があります。
20行目	<b>enable_adobe_sh</b>	Acrobat JavaScriptは有効になっていますか？	AJモードで加工したPDFファイルはAcrobat® JavaScriptを有効にしなければ、動作しません。AJモードのステップ2で設定した「Acrobat® JavaScriptを有効にしてください。Adobe Reader以外のPDFビューアでは閲覧できません。」という趣旨のエラーメッセージと重複することになりますが、HTMLモード側で設定できるエラーメッセージです。
21行目	<b>toolbar_bg_sh</b>	#eeeeff	擬似ツールバーの背景色です。この値は、HTMLモードのGUI設定でも設定できますが、後から変えたい場合は手動で書き換えてください。色の指定方法は、普通のHTMLと同じです。
22行目	<b>bg_image_sh</b>	(空白)	擬似ツールバーの背景画像です。背景画像のパスを指定してください。相対パスで指定する場合は、出力フォルダーから見たパスになります。「bg_image_sh="image_sh/semi_toolbar/background.gif";」のように指定してください。
23行目	<b>message_recieve_sh</b>	メッセージ受信エラー:	多くの場合、PDFファイルをAJモードで加工していない場合か、AJモードで加工していても、擬似ツールバー機能を選択して加工していない場合に表示されます。
24行目	<b>toolbar_page_sh</b>	ページ	「1. ボタンについての概要」の④のページ数表示に表示される文言。
25行目	<b>show_company_logo_sh</b>	false	会社のロゴを「1. ボタンについての概要」の左側に表示するかしないか。「show_company_logo_sh=true;」の場合は「image_sh/semi_toolbar/logo.gif」が表示されます。logo.gifはお客様の会社のロゴに差し替えてください。width=99、height=23を想定しています。縦横の比率がうまくいかない場合は、左もしくは右側(もしくは上下)に余白があるようにして、透過GIFにして作成してください。
26行目	<b>dst4_sh</b>	1	擬似ツールバーの表示位置に関する設定です。この値は、HTMLモードのGUI設定でも設定できますが、後から変えたい場合は手動で書き換えてください。「dst4_sh=1;」なら「PDFファイルの上」、「dst4_sh=2;」なら「PDFファイルの下」です。  何らかの理由で、後からやはり擬似ツールバーを使いたくないと思われた場合は、「dst4_sh=0;」にさせていただくと、擬似ツールバーは一切表示されません。

## JavaScript初心者の方へのワンポイントアドバイス

- a. 念のために、編集前にオリジナルのファイルをバックアップしてください。
- b. 「=」の右側(右辺)だけ変更してください。
- c. 各行最後の「;」は取らないでください。
- d. 赤枠で囲った部分以外は編集しないでください。
- e. 「”」で囲まれた部分に「”」や「¥」を使わないでください。使う場合は、「”」は「¥”」に、「¥」は「¥¥」変えていただく必要があります。
- f. 「true」や「false」の場合には、「”」は要りません。

### 3. (重要)印刷ボタンについての御注意

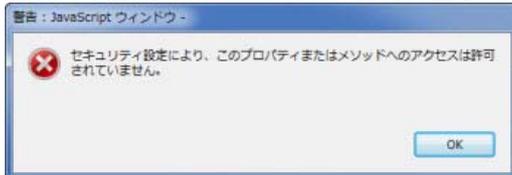
勘違いされやすいところだと思いますが、

- 印刷ボタンを擬似ツールバー上に表示しなければ印刷できないようになっているわけではありません。
- 逆に、印刷ボタンが擬似ツールバーに表示されているから印刷できるわけではありません。

全ては、PDFファイルを作成される時に印刷禁止になるようにPDFファイルを作成・設定されているかどうかにかかっています。[HTMLモードに印刷禁止機能はありません。](#)

印刷禁止にしていないPDFファイルの場合には、たとえ擬似ツールバー上に印刷用ボタンを表示させなくても、PDFファイル上で右クリックすれば印刷できます。

逆に、印刷禁止にしているPDFファイルの場合には、たとえ、印刷ボタンを表示させていても問題ありません。印刷ボタンをクリックしても、



というエラーメッセージが表示され、結局は印刷できないようになっています。

### 4. 画像ボタンのカスタマイズ

各ボタンのファイル名は、「1. ボタンについての概要」を参照してください。出力フォルダーの中に、「image\_sh/semi\_toolbar/」フォルダーがあると思いますので、その中の画像を差し替えてください。縦横サイズについての制限がある場合もあるかと思いますが、ファイル名さえ同じにいただければ、ご自由に作成していただいて問題ありません。

### 5. 完全カスタマイズについて

画像ボタンやJSファイルなどのカスタマイズではお客様の要件を満たさない場合や、完全にカスタマイズされたい場合は、[サポート](#)に御相談ください。有償サポートで可能かどうか検討させていただきます。費用的には、恐らく、5万円以上になると思います。なお、弊社にはデザイナーはいませんので、画像の作成などはできません。画像はお客様でご準備ください。